

エコアクション21 2017年版

# 環境経営レポート

## 2024年度

対象期間：2024年4月～2025年3月

2025年5月1日



プラスチック・チューブの押出成形に優れた技術  
オーティーピー株式会社

# — 目 次 —

	ページ
1. 組織の概要	1
2. 環境経営方針	2
3. 実施体制図	3
4. 環境経営目標	4
5. 主要な環境活動計画と結果	5
6. 環境目標とその実績	6
7. 6の添付資料	7
8. 環境経営目標の達成状況	8
9. 環境関連法規への対応	9
10. 毎月一斉清掃実施	10
11. 緊急事態の対応	11
12. 代表者による全体評価と見直し・指示	12



ナイロン/  
ポリウレタンチューブ



マルチ  
コントロールチューブ



スパイラル  
チューブ



カールチューブ



多層チューブ

## 1. 組織の概要

- 1) 事業所名                    オーティーピー株式会社
- 2) 代表者氏名                代表取締役社長 三枝恵子
- 3) 所在地                      静岡県御殿場市萩原 1 5 4 9
- 4) 事業内容                    自動車用・産業機器用プラスチック  
チューブ製品の設計・製造・販売
- 5) 従業員数                    31名
- 6) 環境管理責任者            長沢文明
- 7) 連絡先                      長沢文明  
TEL : (0550) 81-0555  
FAX : (0550) 81-0550  
E-mail : nagasawa @ otpkk . co . jp
- 8) 活      動                    自動車用・産業機器用プラスチック  
チューブ製品の設計・製造・販売
- 9) 対象範囲                    オーティーピー株式会社 本社・工場
- 10) 事業の規模

項      目	2024 年度 実績
設立年月日	1999年05月12日
資   本   金	15 百万円
売   上   高	446.1 百万円
従業員数	31 名
床   面   積	1,678m <sup>2</sup>

## 2. 環境経営方針

### 環 境 経 営 方 針

#### <基本理念>

当社はプラスチック製品を製造する事業所として、自然の営みを配慮した、継続的環境経営改善を進めることにより、地球環境の保全に努める。

#### <行動指針>

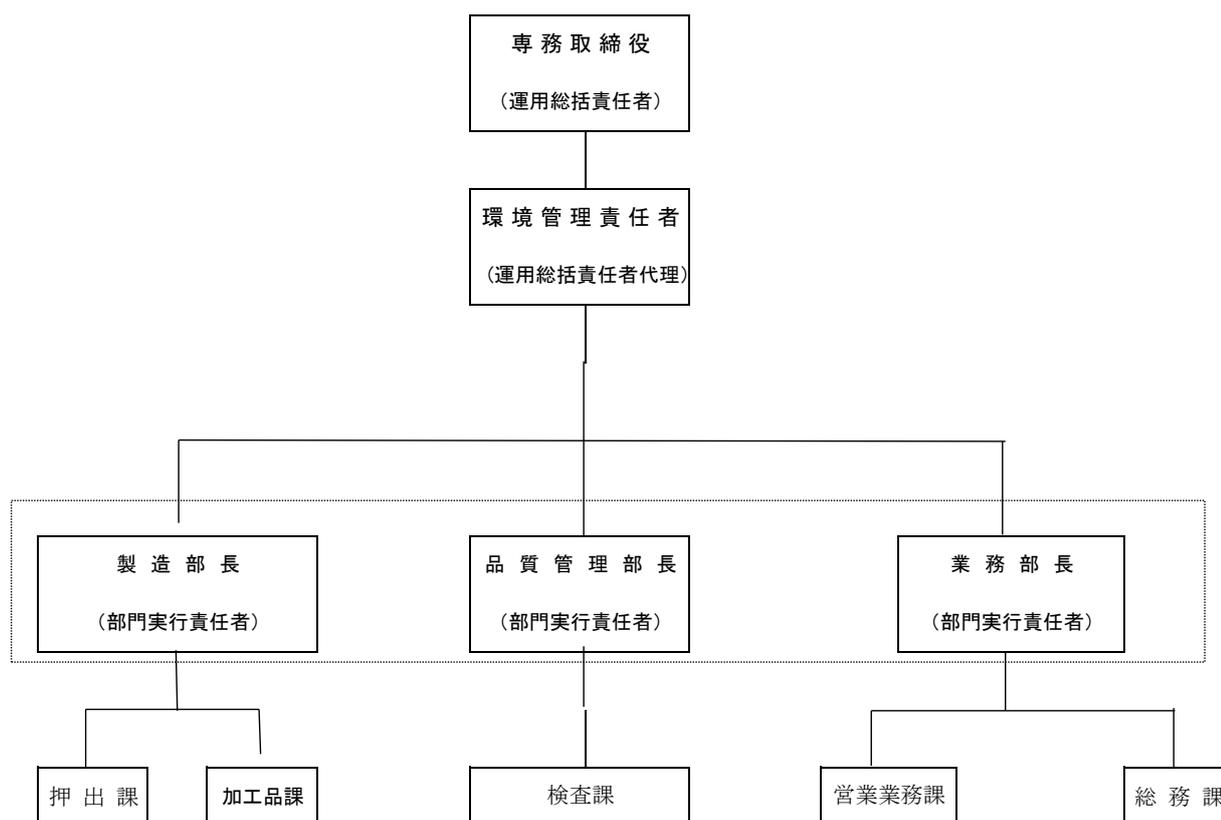
- I. 環境に優しい部材を調達し、環境に優しい製品を製造する。  
環境の負荷低減に努める。  
特に下記項目については重要課題とする。
  - 1.二酸化炭素排出量（購買電力の削減）
  - 2.産業廃棄物量（プラスチック廃棄量の削減）
  - 3.水道水使用量（冷却水の循環使用）
  - 4.原材料や事務用品のグリーン購入に努める
  - 5.化学物質使用量の削減に努める
  - 6.物流の変動に伴い、生産方法の見直しを行う
  
- II. 環境に関する法令、規則、条例を順守する。
  
- III. 従業員の環境教育、啓蒙活動を行い、全員の環境保全意識の向上に努める。
  
- IV. 社会とのコミュニケーションに努める。

改訂：令和 2 年 4 月 1 日

オーティーピー株式会社

専務取締役 栗山 伸一

### 3. 環境マネジメントシステム実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者(専務)	環境経営に関する総括責任
	環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	環境管理責任者の任命
	環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	環境目標・環境活動計画を承認
	代表者による全体の評価と見直しを実施
	環境活動レポートの承認
	経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理
	環境関連法規等の取りまとめ表を作成及び確認
	環境活動の取組結果を代表者へ報告
	環境活動レポートの作成及び確認
	環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	環境活動の実績集計
	外部コミュニケーション窓口(苦情・要望等)
	内部コミュニケーション窓口(要望等)
	各部門節電管理
	グリーン購入(業務部)
各部門長	自部門における環境経営システムの実施
	自部門における環境方針の周知
	自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	特定された項目の手順書の作成及び運用管理
	自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

## 4. 環境経営目標

### 1. 2024年度運用期間（2024年04月～2025年03月）の環境目標

項目	単位	基準年度	2024年度目標		
		2021年度 実績値	削減率	目標値	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	274,005	-5.0%	260,305	
	月kg-CO <sub>2</sub> /生産金額	0.61	-5.0%	0.58	
内訳	電力	kWh /年	578,071	-5.0%	549,167
		kWh/生産金額/月	1.28	-5.0%	1.22
	ガソリン	L /年	2,728	-5.0%	2,592
	軽油	L /年	1,095	-5.0%	1,040
	LPガス	kg /年	224	-5.0%	213
廃棄物排出量	産業廃棄物	t /年	29.3	-5.0%	27.8
	一般廃棄物	t /年	0.26	-5.0%	0.25
水使用量	m <sup>3</sup> /年	576	-5.0%	547	
化学物質使用量	kg /年	276	適正な管理・使用	実績把握	
顧客要求に基づいた環境調査の実施	—	100%	—	100%	
4Sチェック	件	3	前年度維持	3	

<備考>

1. 目標年度(2023年)の購入電力の二酸化炭素排出係数は東電(2019年調整前)排出係数「0.457-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用

### 2. 短期・中期の環境目標

環境目標は、2021年度を基準年とした基準年比で示す。

項目	単位	基準年度	削減率等			
		2021年度 実績値	2023年度(-3.0%)	2024年度(-5.0%)	2025年度(-8.0%)	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	274,005	265,785	260,305	252,085	
	kg-CO <sub>2</sub> /生産金額	0.61	0.59	0.58	0.56	
内訳	電力	kWh	578,071	560,729	549,167	531,825
		kWh/生産金額/月	1.28	1.24	1.22	1.18
	ガソリン	L	2,728	2,646	2,592	2,510
	軽油	L	1,095	1,062	1,040	1,007
	LPガス	kg	224	217	213	206
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	29.3	28.4	27.8	27.0
	一般廃棄物	t	0.26	0.25	0.25	0.24
水使用量	m <sup>3</sup>	576	559	547	530	
化学物質使用量	kg	276	現状維持	現状維持	現状維持	
4Sチェック	件	3	現状維持	現状維持	現状維持	

<備考>

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東電(2019年調整前)排出係数の「0.457-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用
2. 「化学物質使用量」は原材料使用量(生産量)により変動するため定性的な目標とする。
3. 「環境に配慮した製品づくり」は、4Sチェック活動とした。

2024年度 主な環境活動計画と結果

項目	活動計画	部署	責任者	結果	評価	2025年度取組内容	
1. 二酸化炭素排出量の低減 1) 購買電力の削減	ア. コアレクターの負荷削減 エアー使用量の削減 ・バンプ方法の改善 ・冷却水槽の水きり改善	押出課	内藤	継続実施	○	継続実施	
	イ. 押出機ヒートアップ時間の短縮による電気の低減	押出課	内藤	計画的ヒーターアップ生産スタートを実施(押出課)	○	継続実施	
	計画生産に伴いヒートアップ時間の管理(押出課) 昇温完了から生産開始時間管理の徹底			計画生産に伴いヒートアップ時間の管理(押出課) 昇温完了から生産開始時間管理の徹底	○	継続実施	
	ウ. 各環境担当による省エネ効果 電力積算による各課での集計管理報告(押出課)	押出課	内藤		○	継続実施	
	エ. エアー漏れ点検チェック 毎月各週末点検チェック(押出課) 定期設備点検でエアー漏れ確認(検査課) 担当者を決めてチェック漏れを無くす(押出課) 担当者を決めてチェック漏れを無くす(加工品課)	各課		毎月各週末点検チェックを行い異常は無し 毎日点検チェックを行い大きな異常は無し 点検を行いエアー漏れ異常無し 毎日点検チェックを行い大きな異常は無し(担当高田)	○ ○ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施	
	オ. 節電活動 エアーコンフィルター清掃(2回/月)実施(各課)	各課		加工品課 エアーコンフィルター清掃実施出来ていない月があった。	×	継続実施	
	省エネ・節電ルールの徹底(継続実施) 作業時間以外の消灯徹底 全エアーオン(検査課・加工品課)	加工品課	三輪	2023年度 23,281kw 2024年度 23,775kw 前年度より494kw増加	○	継続実施	
	夏季・冬季のエアコン温度設定の管理の徹底 タイマー設定を活用し朝4時入り(加工品課)	加工品課	三輪	継続してタイマー設定の活用が出来ている。	○	継続実施	
	2) 化石燃料使用量の削減	ア. LPG 金型の樹脂焼き回数削減 金型交換後付着樹脂が固まる前に焼き取る事の徹底(押出課) ・金型は数個纏めて除去 ・OH時、成形樹脂毎にバンプ材を使い分け *金型から樹脂を焼き取る時間短縮が出来た	押出課	小林	金型交換後付着樹脂が固まる前に焼き取る事の徹底(押出課) ・金型は数個纏めて除去 ・OH時、成形樹脂毎にバンプ材を使い分け *金型から樹脂を焼き取る時間短縮を行っている 購入量 2023年度 18本(144kg) 購入量 2024年度 16本(128kg)	○	継続実施
		イ. 社用車の燃料費削減 トラックの積載パレット数3にする(業務部) 倉庫往復回数を減らす ドライループ加工室の活用	業務課	後藤	目標CO2換算値(軽油+ガソリン) 7,560kg/年 実績 6,610.2kg/年 目標値より12.6%減少 積極的なweb面談の活用 及び 複数者での客先訪問を単独訪問とした為、 電車移動に変更		目標CO2換算値: 600kg/月 7,200kg/年 継続実施 毎月の走行距離記録を分析し 燃費管理を行う
2. 産業廃棄物の削減	ア. 分別の徹底 ・成形樹脂ダング廃棄の削減 スタート時、ホッピング時の低速運転により廃棄原料削減(押出課)	押出課	小林	廃棄量 2022年度(3.62t) 廃棄量 2023年度(5.86t) 61.8%増加 廃棄量 2024年度(5.63t) 0.01%減		継続実施 設備関連を整備する	
	イ. 廃棄物の圧縮 廃棄樹脂のリサイクル用途売却 段ボール・古紙の無償リサイクル回収 原料袋・紙管の無償リサイクル回収	検査課 各課 各課	長沢	回収済み 回収済み 回収済み	○ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施	
	ウ. 原価管理 歩留り率 目標: 99.3%	押出課	小林	目標: 99.3%/年 実績: 101.50%/年	○	目標: 99.4%/年	
	ゴミ分別管理の徹底(継続実施) 徹底した分別を実施する(加工品課) 古紙・産廃の分別実施(検査課)	加工品課 検査課	三輪 長沢	問題なく出来ていた。 問題なく出来ていた。記録簿あり	○ ○	継続実施 継続実施	
	持ち帰り各自で処分。 会社の有料廃棄物には捨てない。(継続実施)	加工品課	三輪	問題なく出来ていた。	○	継続実施	
	加工品課からの廃棄物コンテナへ廃棄する際は ゴミの圧縮を行い廃棄をする	加工品課	三輪	問題なく出来ていた。	○	継続実施	
	一般ゴミ: 御殿場市回収 目標: 20.8kg/月250kg/年	業務課	後藤	目標: 190kg/年 実績: 176.8kg/年		目標: 15.0kg/月 180kg/年 前年度目標より10kg減	
3. 水道水使用量の削減	ア. 水道使用量のチェック 目標40.0m <sup>3</sup> /月 年間480L	押出課	小林	実績37.6m <sup>3</sup> /月 2022年度 523.0m <sup>3</sup> 2023年度 451.3m <sup>3</sup> 前年度比 14.5%減少 2024年度 416.3m <sup>3</sup> 前年度比 -7.75%減少	○	継続実施	
	イ. 凍結による水道管破裂防止	押出課 検査課	小林 長沢	別になし 更衣室の水道管凍結防止ヒーターが漏電したので交換	○	冬季の凍結防止使用対策を検討する 設置状況を見守る	
5. 化学物質	ア. 使用化学物質のSDSを入手する	業務課	購買	使用化学物質のSDSを入手する	○	継続実施	
	イ. 購入量・使用量を把握する		購買	購入量・使用量を把握する	○	継続実施	
4. その他	40w蛍光灯をLEDに交換	EA21	長沢	本年度の交換はなし	○	継続実施	
	顧客要求に基づく 環境調査の実施(原材料物性他)	業務課	購買	2023年度実績 10件	○	継続実施	
	チェック表に基づいた環境調査(4Sチェック)実施(3回/年)	EA21	長沢	問題なく実施済み	○	継続実施	

## 6. 環境目標とその実績

目標：顧客がリン調達基準の厳守 並びに環境に優しい部材の調達を行う

計画：下記活動を執り行う

\* 実績購入電力の二酸化炭素排出係数(2019.調整前)0.457-Kg-CO2/kWh を使用

環境目標項目	実績値														評価
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均 (/月)	
年間二酸化炭素排出量 目標：260,305 Kg-CO2/月 月間Kg-CO2/生産金額 目標：0.58/月	14,645.0 0.39	15,173.7 0.47	16,282.0 0.46	18,076.0 0.47	16,611.8 0.61	16,162.6 0.47	16,726.4 0.42	17,141.2 0.44	17,720.8 0.48	18,715.6 0.51	18,219.4 0.58	15,723.5 0.47	201,197.90 0.48	16,766.49 0.48	○ ○
1. 購買電力の削減 目標値の電力CO2係数0.457															
ア. 電力使用量実績 目標：549,167 Kwh /年	30,514.2	32,027.1	34,461.3	38,442.9	35,053.1	34,530.4	35,488.7	36,175.4	37,312.8	39,237.8	38,764.9	33,028.0	425,036.60	35,419.72	○
イ. 二酸化炭素排出量 目標：245,305 Kg-CO2/年 Kwh/生産金額千円 1.22/月 月生産金額	13,944.99 0.81 37,822.0	14,636.38 0.99 32,274.0	15,748.81 0.97 35,404.6	17,568.41 1.00 38,498.1	16,019.27 1.28 27,372.3	15,780.39 1.01 34,068.3	16,218.34 0.89 39,703.4	16,532.16 0.92 39,344.9	17,051.95 1.02 36,704.5	17,931.67 1.08 36,495.7	17,715.56 1.23 31,529.5	15,093.80 0.99 33,416.9	194,241.73 1.01 422,634.2	16,186.81 1.02 35,220	○ ○
2. 化石燃料使用量の削減															
ア. LPG/製造現場 213kg/年 (17.75kg/月) CO2換算 (×3.00)	0 0	0 0	0 0	32 96	0 0	0 0	32 96	0 0	32 96	0 0	32 96	0 0	128.00 384.00	10.67 32.00	○
ウ. ガソリン 2,592L/年 (216L/月) CO2換算 (×2.32)	184.90 428.97	176.00 408.32	118.60 275.15	121.80 282.58	144.20 334.54	109.15 253.23	122.00 283.04	146.00 338.72	191.30 443.82	179.97 417.53	120.20 278.86	160.20 371.66	1774.32 4116.42	147.86 343.04	○
エ. 軽油 1,040L/年 (86.6L/月) CO2換算 (×2.58)	105.06 271.05	50.00 129.00	100.00 258.00	50.00 129.00	100.00 258.00	50.00 129.00	50.00 129.00	104.76 270.28	50.00 129.00	142.02 366.41	50.00 129.00	100.00 258.00	951.84 2455.75	79.32 204.65	○
合計：計 kg-CO2 目標値：740Kg-CO2/月)	700.0	537.3	533.2	507.6	592.5	382.2	508.0	609.0	668.8	783.9	503.9	629.7	6,956.2	579.7	○
2. 産業廃棄物の削減															
産業廃棄物 21.1t/年 (1.7t/月) 廃液 0.30 t/年 プラスチック類 (有価物) 10 t/年 古紙 (有価物) 4 t/年 合計 35.4t/年	0.00 0.00 2.39 0.00 2.39	2.45 0.00 0.00 0.36 2.81	0.00 0.00 0.00 0.36 0.36	2.63 0.00 0.00 0.00 2.63	1.93 0.00 0.00 0.36 2.29	0.00 0.00 1.90 0.33 2.23	2.28 0.00 0.00 0.00 2.28	0.00 0.00 0.00 0.39 0.39	2.38 0.00 0.00 0.31 2.69	2.17 0.00 2.59 0.37 5.13	0.00 0.00 0.00 0.38 0.38	2.52 0.18 0.00 0.00 2.70	16.35 0.18 6.88 2.86 26.26	1.36 0.02 0.57 0.24 2.19	○ ○ ○ ○ ○
一般廃棄物 0.250 t/年 (0.020t/月)	0.0126	0.0124	0.0142	0.0166	0.0156	0.0158	0.0164	0.0115	0.0150	0.0165	0.0154	0.0148	0.1768	0.0147	○
3. 水道水使用量の削減 水道量 547m <sup>3</sup> /年 (月：45.5m <sup>3</sup> )	35.34	35.34	32.86	36.14	30.69	30.69	36.85	33.50	31.43	31.43	41.03	41.03	416.33	34.69	○
4. 自らが生産する製品に関する項目															
一斉清掃実施 (月/回) 4Sチェック (3回/年)	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	○ ○
5. その他	<p>*顧客がリン調達の厳守 *事務用品等のグリーン購入の積極的な実施を継続する *顧客要求に基づいた化学物質量の管理徹底、及び化学物質量の削減を検討する (自らが生産する製品に関しても 化学物質削減に努める)</p>														

## 2024年度電力使用量実績 及び Kwh/生産金額千円

月	日	電力単価	電力使用量 15日締めKwhr	日当使用量 Kwhr	1日～15日	月電力使用量 Kwhr	電力会社	月稼働時間 Hr	月電気料金 円	総生産金額 千円	Kwh 稼働時間	Kwh 生産金額	
					16日～末日								
3月	10日	円	30,682	1,461.05	Kwhr	30,514.2	東電	1,763.0	686,191	37,822.0	17.3	0.81	4月
4月	11日	21.47			16,071.5								
	10日	23.62	27,441	1,444.26	14,442.6	32,027.1	東電	1,524.8	757,622	32,274.0	21.0	0.99	5月
5月	9日	23.62			12,998.4								
	12日	23.68	34,886	1,585.73	19,028.7	34,461.3	東電	1,635.1	834,833	35,404.6	21.1	0.97	6月
6月	10日	23.68			15,857.3								
	10日	24.69	37,208	1,860.40	18,604.0	38,442.9	東電	1,937.7	960,462	38,498.1	19.8	1.00	7月
7月	10日	24.69			18,604.0								
	12日	25.26	34,718	1,653.24	19,838.9	35,053.1	東電	1,410.2	838,437	27,372.3	24.9	1.28	8月
8月	9日	25.26			14,879.1								
	10日	22.93	40,348	2,017.40	20,174.0	34,530.4	東電	1,630.2	804,847	34,068.3	21.2	1.01	9月
9月	10日	22.93			20,174.0								
	9日	23.84	30,308	1,595.16	14,356.4	35,488.7	東電	1,814.2	847,613	39,703.4	19.6	0.89	10月
10月	10日	23.84			15,951.6								
	12日	23.92	35,818	1,628.09	19,537.1	36,175.4	東電	1,728.0	884,216	39,344.9	20.9	0.92	11月
11月	10日	23.92			16,280.9								
	10日	24.87	39,789	1,989.45	19,894.5	37,312.8	東電	1,782.8	932,325	36,704.5	20.9	1.02	12月
12月	10日	24.87			19,894.5								
	10日	25.12	31,353	1,741.83	17,418.3	39,237.8	東電	1,890.1	926,190	36,495.7	20.8	1.08	1月
1月	8日	25.12			13,934.7								
	12日	22.77	46,389	2,108.59	25,303.1	38,764.9	東電	1,612.4	893,992	31,529.5	24.0	1.23	2月
2月	10日	22.77			21,085.9								
	10日	23.41	35,358	1,767.90	17,679.0	33,028.0	東電	1,746.7	789,764	33,416.9	18.9	0.99	3月
3月	10日	23.41			17,679.0								
	10日	24.49	32,233	1,534.90	15,349.0	425,036.6	/	/	10,156,490	422,634.2	/	/	4月
4月	11日	/			合計								
		23.9			平均	35,419.7			846,374		20.87	1.02	

## 8. 環境経営目標の実績とその評価

運用期間（2024年04月～2025年03月）の環境目標の実績

基準年度実績をベースに、2024年度の実績・評価を以下に示す。

項目	単位	基準年度実績	運用期間					
		2021年04月 ～ 2022年03月	2024年04月～2025年03月					
		実績値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO2 /年	274,005	-5.0%	260,305	-22.7%	201,198	○	
	月kg-CO2/生産金額	0.61	-5.0%	0.58	-17.0%	0.48	○	
内訳	電力	kWh/年	578,071	-5.0%	549,167	-22.6%	425,037	○
		kWh/生産金額/月	1.28	-5.0%	1.22	-17.3%	1.01	○
	ガソリン	L/年	2,728	-5.0%	2,592	-31.5%	1,774	○
	軽油	L/年	1,095	-5.0%	1,040	-8.5%	952	○
	LPガス	kg/年	224	-5.0%	213	-39.8%	128	○
	廃棄物排出量	産業廃棄物	t/年	29.3	-5.0%	27.8	-5.7%	26.3
一般廃棄物		t/年	0.26	-5.0%	0.25	-28.4%	0.18	○
水使用量	m <sup>3</sup> /年	576	-5.0%	547	-23.9%	416	○	
化学物質使用量	kg/年	276	適正な管理・使用		—	156	○	
顧客要求に基づいた環境調査の実施	—	100%	—	100%	—	100%	○	
		16件				10件		
4S		3	現状維持	3	—	3	○	

<備考>削減比率は、目標値に対する削減量の割合である。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は東電2019.調整前「0.457kg-CO2/kWh」を使用

### <評価>

二酸化炭素	評価	生産量は前年度とあまり変わりはないが、売上の60%以上を占めるニッタ社に於いて販売単価の改定（20%）の承認を頂いたため、販売単価が上昇し生産金額に対する比率となっている購買電力目標値は前年比で減少となった。
	是正	是正なし・現状継続
廃棄物	評価	基準年度と比較すると生産量が減少している分、廃棄物も減少傾向にある
	是正	是正なし・現状継続
水使用量	評価	前期更新したチラードライヤーも順調に稼働し、水道管凍結防止ヒーターのトラブルも早期に発見し交換を行ったため無駄な流出も無かった。
	是正	なし・現状継続

## 9. 環境関連法規への対応

### 1) 当社に該当する主な環境関連法規

遵法評価の結果、法規の逸脱は有りませんでした。

※法規制変更の入手方法

- ・ 環境法令は環境省ホームページ
  - ・ 条例は自治体例規集
- 確認日：2025.03.31

(確認者：長沢 文明)

環境関連法規等の名称	規制概要	規制詳細	規制の適用	遵法評価
廃棄物処理法	産業廃棄物保管	飛散、流出、地下浸透の防止 保管場所に掲示板	産業廃棄物 排出時	○
	産業廃棄物 委託基準	運搬、処分許可業者との委託契約 契約書に許可証の写しを添付 契約書を5年保管		○
	産業廃棄物管理票	管理票（マニフェスト）の交付 B2票を10日以内に受領 D票を90日、E票を180日以内に回収 管理票の写しを5年間保管  産業廃棄物管理票交付等状況報告書 県健康福祉センター提出		○
一般廃棄物	御殿場市廃棄物処 理に関する条例	分別排出	廃棄物排出時	○
環境基本法		一般的な自主目標		○
家電リサイクル法	特定家庭用機器 リサイクル	廃棄時、有償にて適正な引き渡し	TV、エアコン、冷蔵庫等	○
消防法	指定可燃物	樹脂		○
	有機溶剤	有機溶剤		
振動・騒音規制法	振動・騒音基準	振動・騒音	届出済	○
静岡県産業廃棄物の適正な処置に関する条例	管理者	産業廃棄物管理責任者の設置	事業場ごと設置	○
	廃棄物処理	委託先の実地確認と記録の保存	優良委託先の為、免除	○
御殿場市廃棄物の処置及び再利用に関する条例	廃棄物処理及び再利用	廃棄物の減量及び再利用に関する計画 書 事業用大規模建築物に係る調査票	御殿場市環境課 環境衛生スタッフ提出	○
その他	Reach PRTR法等	6価 Cr Cd Pb Hg PBB PBDE DHP BBP DBP DIBP	基準値の遵守	○
	フロン排出抑制法	フロン類の使用の合理化及び管理の 適正化に関する法律	簡易点検の実施廃棄 時後、3年間保管	○
	グリーン購入	環境対応物品の購入	積極的に対応	○

※2019年07月22日からの 改訂RoHS指令（RoHS II）適用に基づき  
原料等の環境調査を積極的に対応

法規への違反、訴訟等の有無

今まで前項環境関連法規への違反は有りません。

また、地域周辺及び環境機関等からの訴訟及び苦情等も有りません。

# 10. 2024年度 一斉清掃 毎月1回／年間 12回 実施

【 7月度 工場周辺及び従業員駐車場 一斉清掃実施状況 】

2024/7/9

OTP環境責任者



①実施日時

7/9 AM7:45~AM8:05

\*出勤者全員での一斉清掃



②作業場所

\*工場清掃 構内側溝



\*工場周辺 及び 従業員駐車場



\*次月は検査課主催にて実施予定

# 2024年度オーティーピー株式会社 緊急事態想定訓練

本社工場

実施項目	大規模地震発生による 緊急避難訓練
実施日	2025年03月20日
参加者	本社工場出勤者 全員
実施内容	防災組織体制に基づいた 避難訓練 及び 消化班・救護班・避難誘導版に分かれての作業内容確認

## 【避難工程】

各課人員点呼後、防災責任者宛報告：長沢→栗山専務への報告

ヘルメット着帽にて避難



ブレーカー切断



各課人員点呼



## 【消火班】

消火器の場所再確認



消火器の使い方の再確認



## 【救護班】 【避難誘導版】

非常用設備の点検確認



訓練終了後には、各課において諸設備が問題なく稼働できる事を確認している。  
避難訓練実施マニュアル書にて確認を行い手順についても問題はありませんでした。

- ・営業業務課後藤課長より 各取引先宛状況報告（訓練）実施済  
（操業に問題ない旨の説明）

## 12. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直しを行った結果は、次の通りである。

見直し実施日	2025/4/30	見直し者：栗山専務
収集した情報	① エコアクション経営システムの運用状況 ② 環境目標の達成状況 ③ 環境活動計画実施状況 ④ その他環境管理責任者の意見	
評価内容	① 環境経営システムが有効に機能しているか ② 環境への取り組みは適切に実施しているか	
専務の評価結果及び環境方針、目標、計画等の変更の必要性の判断	<p>2024年度は上期は受注活動が活況で計画比104%での販売実績を記録した。が、下期は状況が一変し販売計画比90%と低迷していった。この中で電力目標値は上期は計画以上の消費電力で有ったが、下期は生産活動の縮小で予定電力以下の消費となり、通年では目標設定値を下回る状況となり、目標値を達成する状況となった。化石燃料についても生産場所と在庫場所との移動状況、納品活動における車移動も減少して目標を大きく下回る状況で有った。</p> <p>産廃についても、生産活動の縮小の影響と日々の清掃活動、毎月1回の会社一斉清掃などでのごみ排出低減の効果で前年度を下回る結果となった。</p> <p>水道使用量についても上期、下期の生産状況に反映されて上期は数値的に多く、下期は低下した状態となり通年では目標を達成した。また、今期は水道管の破断等の大きな漏水事故もなかったことが幸いした。</p> <p>結果、今期のエコアクションのシステム運用状況、環境目標の達成、実施状況は問題なく実行された。</p>	
見直し項目 変更の有・無 指示事項等	環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	環境に関する組織（全体体制含め）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	その他にシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
	その他（外部への対応）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無